

## 「中央区環境行動計画 2023(仮称)」の構成(案)について

「中央区環境行動計画 2023(仮称)」の構成案を「中央区環境行動計画 2018」の構成と対比させて、以下のとおりに示す。

構成案検討に際しては、令和 4 年 3 月に示された「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル」、中央区環境行動計画推進委員会の意見を考慮するとともに、その他必要に応じて構成の見直しを行った。「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル」に基づく更新箇所は赤色で記載し、「中央区環境行動計画 2023(仮称)」において新たに追加した項目は   で示した。また、第 3 回環境行動計画推進委員会で新たに示す箇所は、背景を   で着色した。

現環境行動計画の構成	環境行動計画 2023 構成(案)	更新内容
本編	本編	
第 1 章 計画の基本的な考え方	第 1 章 計画の基本的な考え方	
1-1 計画策定の背景と目的	1-1 計画策定の背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載事項の追加に伴い、(1)と(2)に節を分けて掲載</li> <li>環境関係の出来事年表追加</li> </ul>
	(1)国内外の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策を巡る国際的な動向の掲載</li> <li>地球温暖化対策を巡る国内の動向(国や他の地方公共団体の政策動向等)の掲載</li> <li>気候変動の影響掲載</li> <li>SDGs(持続可能な開発のための 2030 アジェンダ)の概要を掲載</li> <li>近年の世界情勢を踏まえた国の第五次環境基本計画について掲載(環境・経済・社会の統合的向上を目指す内容)</li> <li>新型コロナウイルス感染症について掲載</li> </ul>
	(2)区のこれまでの取組と計画策定の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>「中央区環境行動計画 2018」の改定である旨記載</li> </ul>
1-2 計画の位置づけと役割	1-2 計画の位置づけと役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体実行計画(区域施策編)、気候変動適応計画も兼ねる内容である旨明示</li> <li>体系図修正(SDGs 実施指針とも整合を図る)</li> </ul>
1-3 計画の期間	1-3 計画の期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 5(2023)年度～令和 14(2032)年度</li> </ul>
	1-4 計画の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の構成図を追加</li> <li>本編、別冊の構成を説明</li> </ul>
第 2 章 現状と課題	第 2 章 現状と課題	
2-1 地域の概況	2-1 地域の概況	
(1)位置・地勢に関すること	(1)位置・地勢に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の情報にデータを更新</li> </ul>
(2)人口・世帯数に関すること	(2)人口・世帯数の推移	
(3)事業所に関すること	(3)区内の事業所の特徴	
(4)土地利用に関すること	(4)土地利用に関すること	
	(5)交通手段に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通利用者数(鉄道、バス等)、自動車保有状況の推移</li> <li>サイクルポート、EV 充電スタンド・水素ステーションマップを追加</li> </ul>
2-2 地域の環境に関する動向	2-2 地域の環境に関する動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標との関連を踏まえて現計画から項目を並べ替え</li> </ul>
(1)エネルギー消費に関すること	(1)温室効果ガス排出量・エネルギー消費量に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の情報にデータ更新</li> </ul>
(2)ごみ・資源に関すること	(2)気象現象等の変化に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動適応計画も兼ねるため、グラフを追加(過去～現在の変化を説明するパートであり、将来予測は資料編に掲載を検討)</li> </ul>
(3)気候変動に関すること	(3)ごみ収集量・資源回収量の推移	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の情報にデータ更新</li> </ul>
(4)大気・水質に関すること	(4)緑・水辺環境に関する状況の推移	
(5)緑・水辺に関すること	(5)大気・水質に関する調査	
(6)環境活動に関すること	(6)環境活動および区民・事業者等の意識変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート集計結果を反映</li> <li>事業者アンケート:取組をより強化すべき施策の参考となる設問を選定</li> </ul>

現環境行動計画の構成	環境行動計画 2023 構成 (案)	更新内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生アンケート:次世代を担う子ども達が重視している取組を把握できる設問を選定</li> </ul>
2-3 中央区環境行動計画 (平成 20 (2008) 年 4 月～平成 30 (2018) 年 3 月) の評価	2-3 前計画の取組結果の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 3 年度第 2 回環境行動計画推進委員会資料では削除したが、次節で分野ごとの課題を示すため、その検討材料として取組結果を基本目標ごとに掲載</li> </ul>
(1) 地球環境	(1) 基本目標 1 低炭素社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終的な評価は令和 5 年度に行うため、データのある各年度の進捗評価を基にする</li> </ul>
(2) 都市環境	(2) 基本目標 2 循環型社会	
(3) 生活環境	(3) 基本目標 3 自然共生社会	
(4) 自然環境	(4) 基本目標 4 安全安心な社会	
(5) 地域の環	(5) 基本目標 5 学びと行動の輪 (わ)	
(6) 推進体制		
	2-4 地域の環境に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>現計画で「現状と課題」とあるものの、課題が掲載されていないことを踏まえて追加</li> <li>基本目標との対応を意識し、課題を 6 分野で整理</li> </ul>
	(1) 気候変動 (緩和)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2-1 から 2-3 までの現状を受けて記載</li> </ul>
	(2) 気候変動 (適応)	
	(3) 資源循環・廃棄物	
	(4) 自然環境	
	(5) 生活環境	
	(6) 学びと行動	
2-4 新計画への反映		<ul style="list-style-type: none"> <li>2-4 で課題整理の節を設けたことと、第 3 章で基本目標に関する説明をするため「新計画への反映」の位置づけが不明確となったことから削除</li> <li>削除した代わりに、第 3 章 3-2 の基本目標のテキストボックスの記載を改め、反映の考え方を項目建てて明確化</li> </ul>
<b>第 3 章 環境像と基本目標</b>	<b>第 3 章 環境像と基本目標</b>	
3-1 望ましい環境像 「水とみどりにかこまれ 地球にやさしく 未来につなぐまち 中央区」	3-1 望ましい環境像 「水とみどりにかこまれ 地球にやさしく 未来につなぐまち ゼロカーボンシティ 中央区」	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間改定のため、環境像の大幅な更新は見送る</li> <li>基本計画 2023 の策定状況を踏まえ、記載内容の整合を図る</li> </ul>
3-2 基本目標	3-2 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画が環境面だけでなく、経済面・社会面にも配慮する旨の説明を、個別の施策・取組の説明の前段階として行う</li> <li>現計画の記述を継承</li> <li>第 1 章の国の第五次環境基本計画の記述を受けて、本計画がコベネフィットの考え方に基づく旨を記載</li> <li>SDGs が環境面以外の側面を有しており、環境、経済、社会の 3 側面においても、本計画が SDGs 達成に寄与する旨を記載</li> <li>新たな基本目標「気候変動適応社会」を追加</li> <li>「目指す姿」と「施策の方向性」に項目を分けて記載</li> <li>コベネフィットを基本目標ごとに例示</li> </ul>
	(1) 基本目標の役割	
	(2) 本計画とコベネフィットの関連性	
	(3) SDGs との関連性	
	(4) 基本目標	
	3-3 温室効果ガス排出削減目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標 1 をはじめ、基本目標を横断する目標であることから、現計画の第 4 章で記載している温室効果ガス排出削減目標を、基本目標ごとの指標の前に掲載</li> <li>なお、次節では代表して基本目標 1 の指標として掲載</li> </ul>
3-3 指標	3-4 指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標単位で指標を設定</li> <li>基本目標 2 については、区の取組によらない要因があるため、目標値を設定せずに状況を定期的に観測する「モニタリング指標」を設定</li> </ul>
<b>第 4 章 基本目標達成のための施策</b>	<b>第 4 章 基本目標達成のための施策</b>	
4-1 施策の体系	4-1 施策の体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな基本目標「気候変動適応社会」を追加</li> <li>各基本目標に SDGs のアイコン掲載</li> <li>SDGs ロゴは上位計画、関連個別計画と整合させた</li> </ul>
4-2 施策の推進	4-2 施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各基本目標に SDGs のアイコン掲載</li> <li>ページの見方を掲載</li> </ul>

現環境行動計画の構成	環境行動計画 2023 構成 (案)	更新内容	
基本目標 1 低炭素社会 ～地球にやさしいまちづくり～	基本目標 1 脱炭素社会 ～地球にやさしいまちづくり～	<ul style="list-style-type: none"> <li>現計画の施策の加除</li> <li>取組による二酸化炭素排出量削減量は別冊に掲載</li> <li>主体ごとの取組を掲載</li> </ul>	
	基本目標 2 気候変動適応社会 ～気候変動の影響を防止・軽減するまちづくり～	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の気候変動適応計画中の7分野（農業・林業・水産業、水環境・水資源 等）を基に施策を分類</li> <li>気候変動影響評価の結果に基づき施策を選定</li> <li>主体ごとの取組を掲載</li> </ul>	
基本目標 2 循環型社会 ～限りある資源を大切にすまちづくり～	基本目標 3 循環型社会 ～限りある資源を大切にすまちづくり～	<ul style="list-style-type: none"> <li>現計画の施策の加除</li> <li>主体ごとの取組を掲載</li> </ul>	
基本目標 3 自然共生社会 ～水とみどりにかこまれた豊かなまちづくり～	基本目標 4 自然共生社会 ～水とみどりにかこまれた豊かなまちづくり～		
基本目標 4 安全安心な社会 ～安心とやすらぎが実感できるまちづくり～	基本目標 5 安全安心な社会 ～安心とやすらぎが実感できるまちづくり～		
基本目標 5 学びと行動の輪 (わ) ～みんなで環境活動に取り組むまちづくり～	基本目標 6 学びと行動の輪 (わ) ～みんなで環境活動に取り組むまちづくり～		
<b>第5章 計画の進行管理</b>	<b>第5章 計画の進捗管理</b>		
5-1 推進体制	5-1 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>現計画ベースとし、図・文言を必要に応じて修正</li> </ul>	
5-2 進行管理 (PDCA サイクル)	5-2 進捗管理 (PDCA サイクル)		
<b>資料編</b>	<b>資料編</b>		
1 中央区環境行動計画推進委員会の設置について		<b>検討中</b> <b>最終案で提示予定</b>	
(1) 要綱			
(2) 委員名簿			
2 中央区環境行動計画策定までの経過について			
(1) 中央区環境行動計画推進委員会の開催状況			
(2) 中央区環境行動計画 2018 (仮称)「中間のまとめ」に対するパブリックコメントの実施概要			
3 中央区環境行動計画策定に伴う意識調査について			
(1) 環境に関する意識調査概要			
(2) 世論調査の結果 (第 47 回中央区政世論調査)			
(3) 事業者・団体意識調査の結果			
(4) 小・中生意識調査の結果			
4 「地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)」の二酸化炭素排出量削減目標の考え方について			
(1) 削減目標設定の考え方			
(2) 削減目標の検討			
5 環境用語集			
	<b>別冊</b>		
	<b>第1章 別冊の基本的事項</b>		
	(1) 別冊の位置づけ		<ul style="list-style-type: none"> <li>本編に「地方公共団体実行計画 (区域施策編)」の内容 (別冊の掲載事項) を盛り込むと「地方公共団体実行計画 (区域施策編)」の分量が多くなり、「環境行動計画」としてのバランスが悪くなることから別冊として編成</li> </ul>
	(2) 対象範囲		<ul style="list-style-type: none"> <li>吸収源対策は、区外のものも二酸化炭素排出量削減効果算定対象に含む</li> </ul>

現環境行動計画の構成	環境行動計画 2023 構成（案）	更新内容
	(3) 計画の期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地方公共団体実行計画（区域施策編）」も環境行動計画に含まれることから、計画期間を整合</li> </ul>
	<b>第2章 現状と課題</b>	
	2-1 地球温暖化の現状	
	(1) 地球温暖化の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>本編第1章1-1の説明を補強</li> </ul>
	(2) 日本の温室効果ガスの排出状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的な排出動向を記載</li> </ul>
	2-2 温室効果ガスの排出現状	
	(1) 対象とする温室効果ガスおよび部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内の温室効果ガス排出量の約9割が二酸化炭素であることから、削減目標を定める温室効果ガスは二酸化炭素とする</li> <li>現計画およびマニュアルを参考に、産業部門、民生家庭部門、民生業務部門、運輸部門、廃棄物部門の5部門の二酸化炭素排出量の把握を行う</li> </ul>
	(2) 温室効果ガス排出量の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内の排出量の動向を23区・国と比較しながら記載（区内の温室効果ガス排出量およびエネルギー使用量の推移は本編第2章と同一内容）</li> </ul>
	(3) 部門別の二酸化炭素排出量の動向と要因分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門ごとに基準年の平成25（2013）年から直近の値である令和元（2019）年までの部門別二酸化炭素排出量と排出量算定に関連する統計情報の推移を整理</li> </ul>
	(4) 二酸化炭素排出量の算定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準年の平成25（2013）年から直近の値である2019（令和元）年まで、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の算定方法・数値を採用</li> </ul>
	2-3 再生可能エネルギーの導入状況	
	(1) 再生可能エネルギー導入状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの再生可能エネルギー導入状況の推移を記載</li> </ul>
	(2) 再生可能エネルギー導入ポテンシャル（太陽光発電）	<ul style="list-style-type: none"> <li>区の特徴を踏まえ、導入が見込める太陽光（電力として利用）を取り上げる</li> </ul>
	(3) 再生可能エネルギー導入ポテンシャルとエネルギー消費量の比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>区全体のエネルギー消費量に対する再生可能エネルギー導入ポテンシャルを提示</li> </ul>
	2-4 気候変動（緩和策）に関する課題	
	(1) 産業部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>2-2を受け、部門ごとに課題と必要となる取組の方向性を記載</li> </ul>
	(2) 民生家庭部門	
	(3) 民生業務部門	
	(4) 運輸部門	
	(5) 廃棄物部門	
	(6) 再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>2-3を受け、課題と必要となる取組の方向性を記載</li> </ul>
	<b>第3章 温室効果ガスの削減目標</b>	
	3-1 基本事項	
	(1) 計画の基準年度および目標年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の「地球温暖化対策計画」と整合を図り、基準年度を平成25（2013）年度、目標年度を令和12（2030）年度とする</li> </ul>
	(2) 削減目標の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>国「地球温暖化対策計画」の目標年度と「ゼロカーボンシティ中央区宣言」の目標年度において中期、長期の削減目標を設定</li> <li>中期目標は削減効果の積み上げ結果を踏まえ、基準年度比50%減、長期目標は「ゼロカーボンシティ中央区宣言」に基づき排出量実質ゼロとする</li> </ul>
	3-2 削減目標の設定	
	(1) 中期目標の算定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアル中の「対策・施策の削減効果の積上げによる設定方法」を基に「削減効果を目指年度BAU（現状趨勢）排出量から積み上げる方法」を採用</li> </ul>
	(2) 二酸化炭素排出量の将来推計（現状趨勢ケース）	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記3-2(1)に伴い、今後追加的な対策を行わない場合の、将来の二酸化炭素排出量を推計</li> <li>推計は中期目標年度の令和12（2030）年度まで実施</li> </ul>
	(3) 計画の削減目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>3-1(2)のとおり、二酸化炭素排出量を令和12（2030）年度において平成25（2013）年度比50%減、令和32（2050）年度で実質ゼロとすることを旨とする</li> </ul>

現環境行動計画の構成	環境行動計画 2023 構成（案）	更新内容
	(4) 脱炭素社会の実現に向けたロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 12 (2030) 年度の区内の再生可能エネルギーの導入量について、区内の電力消費量の 50%とする</li> <li>本計画における取組を基本として、区版のロードマップを作成</li> </ul>
	3-3 コベネフィットへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>本編第 3 章で挙げたコベネフィットのうち、気候変動(緩和策)に関するものを抽出・追加</li> </ul>
	<b>第 4 章 気候変動（緩和策）</b>	
	4-1 施策体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>本編第 4 章のうち、二酸化炭素排出量削減に資する施策および取組を抽出し、記載</li> </ul>
	4-2 二酸化炭素排出量削減に関する取組	
	4-3 削減見込の算定	